

# 令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 さい帯血国際患者支援の会

## 1 事業の成果

- ① さい帯血バンク、さい帯血移植医療の現場においては造血幹細胞移植推進法の立法趣旨に基づき、その運用が順調に行われている。との現場からの報告がなされている。  
さい帯血移植は、4年連続骨髄バンクを通じた骨髄移植を上回る移植数である。
- ② さい帯血バンク支援活動は、日本赤十字社支援機関の作成による広報資料の配布に協力している。
- ③ iPS細胞研究支援の柱の一つである『有期雇用の専門職員を正規雇用とすること』が京都大学iPS細胞研究財団の公益財団への移行より実現することが出来た。結果として、専門家たちが安心して中長期視点でも新たな研究に取り組めるようになった。
- ④ 厚労省血液推進課の助言を得て、「献血推進テキスト」の広報・配布に協力した。
- ⑤ アメリカ・ヨーロッパ等の造血幹細胞移植情報をリモートにより直接得ることが出来、次の活動につなげることが出来た。
- ⑥ 当会が活動情報を一部共有しているアメリカのタイガ・バイオテクノロジーズ（以下タイガ）の研究がアメリカ・ヨーロッパ・アジアで治験が進んでおり、日本では実費による治療が可能になった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
① 患者直接支援事業	①「希望の家」患者等宿泊施設提供	令和2年4月～ 令和3年3月	兵庫・東京	数名	治療を受ける患者・家族	1,559,024
	②患者相談窓口 患者相談会等					
	③セカンドオピニオン 受診等のための 交通費・宿泊費等					
② 患者間接支援事業	①高度医療推進団体支援 公的さい帯血バンク支援	令和2年4月～ 令和3年3月	全国	全 会 員	医療施設 臍帯血バンク	999,965
	②広域活動支援 勉強会、講演会、 リーフレット配布、 ホームページ運営				不特定多数	
	③調査・研究・ 高度医療技術 推進支援					
③ 上記の支援活動に伴う諸経費	旅費交通費 会議費 印刷製本費 通信費 運搬費					381,113